



編集者 高橋 英一 *

法人本部・生活支援センター
〒314-0016
茨城県鹿嶋市国末1539-1
TEL 0299(82)6464
FAX 0299(83)3261

鹿島育成園 (児童養及び育成寮)
〒311-2401
茨城県潮来市大賀438-4
TEL 0299(66)3439(代)
FAX 0299(66)3431

<http://www.kashima-ikuseien.com/>
mail:kaikusei@eagle.ocn.ne.jp

定価 100円



3/4 まつぼっくり交流会。茨城空港にて。

小沼勝二さんの事

園長 高橋 英一

小沼さんは、私の高校の先輩であり、知的障害福祉の分野で一番頼りにしていた先輩でもあった。残念ながら、あの大震災の日常業務理事をされていた法人の海辺近くの高齢者施設を巡回していた時に地震に遭い、利用者さんを救うために陣頭指揮をし、全員を二階に避難させた直後に津波に飲み込まれ帰らぬ人となった。仙台で困った時は頼りになる兄として何でも相談に乗っていただいた。

昨年十二月に仙台に帰った時、小沼さんを知る友人から地元紙のコピーを貰った。そこには小沼さんの笑顔の写真と「あなたに伝えたい」コーナーのお嬢さんの「成長した姿を見てほしい」のテーマで綴った文章を読んで、ただただ涙が流れた。小沼さん、貴方の想いは間違いなく伝わっていますよ。私もいつの間にかあの日の小沼さんの年齢を超えてしまいました。弟分の私を見て下さい。



研修報告

防災災害への備えに

関する講演会(2/8)

児童指導員 松枝 裕

テーマは災害に対する回避能力と防災知識についてでした。まず、自分が痛感したのが災害とそれに対する備えに関しての不見識さでした。講演では避難、災害情報の獲得の仕方、避難準備に必要な事を学び、続いて災害が発生した際に自力で避難ができるようにしなくてはならない事、地域との助け合いが大切であることを学びました。印象に残ったのは、災害が起きた時に力となるのは地域の子どもたちであったという言葉でした。体力があり、学校では定期的に避難訓練をして防災への知識を学んでいるためではないかというものでした。いざ災害が起きた時、子供たちは大人と一緒にあるかは分かりません。その時に自分自身を守り手助けや協力が出来る子であるかは支援する職員の手にかかっていると感じました。

業務改善手法研修(1/25・26)

生活支援員 石川 由美子

講師の方が多くの福祉施設や病院を訪問されているということで、わかりやすい事例が多く取りあげられた講義とグループワークでした。業務改善に要する時間の捻出や今までの仕事の進め方を変えることによって戸惑いのある人もいると考えられます。しかし、サービスの向上という目的に向けて業務改善を実施した結果、職員の満足度の向上や成長につながり、その新たな仕組みは、現場をいきいきとさせ、活性化を促すものだと考えられます。そして、業務改善によって得られた効果が、改善前の状態に戻りしないようにするために維持・管理することも重要だと感じました。まずは研修を受けた自分自身が出来ることから取り組み、その効果を周りの人たちに理解してもらおう。そして、周りの人を巻き込んで、少しずつ改善の取り組みを広げていきたいと思えます。

児童寮

卒業後の児童の進路に関して

副主任 遊佐 朋美

今年度は鹿島特別支援学校高等部に通っていた男子二名、女子二名が卒業しました。卒業後の彼らの進路は家庭へ、グループホームへ、児童寮に在籍して法人内の作業所へと様々です。進路に関しては学校、児童相談所、保護者と話し合いながらそれぞれにとって一番良い方向性を探しました。

それぞれ進んでいく道は異なっていますが一人ひとりが悔いのないように、そして健康で元気に、幸せだと思える人生を歩んで行ってもらえるようにしていきたいです。



育成寮

口腔ケア講習会(2/2)

生活支援員 川崎 里子

潮来保健所、県歯科衛生士会の講師の方による口腔ケア講習が行われました。講習では最初に利用者に歯磨きをしてもらい、検査薬を用いてどの程度汚れが残っているのかを見ました。参加した多くの利用者が歯と歯の間に磨き残しが見られ、人によっては下の前歯も唇に覆われて磨きにくいようでした。しかし講師の方から、普段の口腔ケアがよくできている、とお褒めの言葉を頂きました。

うがいについては、やはり口に入れた水を吐き出すだけでなく、口内で歯の外側まで水を回してすすいだ方が良さそうです。また、喉で水を揺らすガラガラうがいは、嚥下機能の維持や向上に役立つとのことでした。

最後に口のストレッチとして、「健口体操」を教わりました。効果として唾液分泌や嚥下しや

すくなる等が挙げられており、食前に行なう準備体操と紹介されました。

今回の講習で知ったことや、改めて認識したことを踏まえて、利用者や自分の口腔ケアに活かしていきたいです。



個別支援計画から

児童指導員 市原 希

私の担当させてもらっているTさんの支援計画も三年目を迎えました。Tさんはいつも笑顔でお喋りが好きで小さい子の面倒をよく見てくれる優しい女の子です。以前のTさんは不安定になると暴言や乱暴、意地悪と少しやんちゃな女の子でした。

彼女の支援目標は「思いを言葉で伝えよう」というものでした。

目標を設定してもうまくいかず、苦労したのを覚えています。目に見えらるご褒美でチェック表を使ったり、不安定になった際はクールダウンを設けたりしました。「思いを伝えよう」という目標は筆談から始まり、少しずつ彼女自身の事に関して表現ができるようになり、そこから言葉で伝える事ができるようになってきました。Tさんの素晴らしい面は目標を設定し、振り返る力があることです。彼女とは目標を年三回振り返り、できたことを確認してきました。時が経つにつれ、できる事が増えていく事にTさん自身も面白さを感じてきています。今は、特定の大人だけではなく誰に対しても彼女の意見、思いを言う事ができるように練習しています。ケーキ屋さんになる夢を追いかけて一步一步前進しているTさんを今後も支援していきたいと思っています。

障害者就業・生活支援センター

まじほくす

運営連絡会議 (2/28)

支援員 高橋 孝一

今年度二回目の運営連絡会議が43機関56名の出席を得て開催されました。今回は「ハローワーク常陸鹿嶋」との共催とし、出席の皆様に対して両者の連携体制をアピールする機会ともなりました。

鹿行福祉圏域内の雇用情勢に関するハローワークによる発表、まっぼつくりの現状報告の後、メインでもある「発達障害者の特性について」「発達障害者の就労支援について」というテーマに、それぞれ茨城県発達障害者支援センター野口昇子氏、茨城障害者職業センター石井賢治氏から詳しいお話があり、今後の就労支援に大いに生かされる内容でした。

出席の方々からは発達障害者について理解が進み大変有意義であったと高い評価を得ることが出来ました。



多機能型事業所

アイリス

バレンタイン販売会 (2/13)

バレンタインデーを前にドイツ銀行様からチョココレット販売のお声をかけていただきました。



子供の頃の夢

統括主任 鈴木 はつ子

小学校の卒業文集に、私の夢は探検家になることと書いたことを覚えています。シュリーマンやヘーデン、河口慧海やコンドイルの砂漠やチベット探検の話が夢中になって読み、私もいつか恐竜を見つけたり(その頃は実話もSFもごちゃまぜになっていました)、古代の遺跡を見つげたいと思っていました。トロイの木馬、タクラマカン砂漠、さまよえる湖ロプノール、楼蘭国、今でも言葉と挿絵を思い出せます。

しかし中学生になり、高校生になり、それは夢のような夢であると気づきました。そのかわり高校生の頃、プチ探検の気分を味わえる山登りに出会いました。こわいもの見たさの好奇心、未知のものに対する憧れ、少しずつハードルを上げていくことの楽しさ、人類の知らない場所へは行けないけれど、自分の知らない所は沢山あり、プチ探検

できる所は山ほどあります。仲間と家族と、時には一人で蟹燧を買いながらプチ探検をずっと続けています。



7歳の頃の私です

育成寮入所



伊藤 孝司さん
育成寮
音楽を聴いたりDVDを見る事が好きです。日中活動はリサイクル班です。

新任職員紹介



保育士 野中ひろみ
児童寮
子供達の成長のお手伝いができるような一生懸命頑張りますので宜しくお願い致します。

健康だより

インフルエンザ感染状況

児童寮 2月 A型 11名
育成寮
アイリス
グループホーム } 感染者なし
職員 2月 A型 5名

公益財団法人JKAからの助成金により車両を購入しました



支援センターで使用します。ありがとうございます。

総事業費：3,135,000円
補助金：1,500,000円
車種：セシナ

児童寮の倉庫を設置しました



お悔み

秋山てる子さん
育成寮
2月15日ご逝去されました。(享年73才)
謹んでご冥福をお祈りいたします。

寄付・寄贈・招待

- 一灯 様 (茨城県) 東京善意銀行
- 鹿島 様 (東京都) 鹿島ボランティアネットワーク様
- 鶴崎 邦司 様 (東京都) 小亀 邦司 様 (茨城県)
- 出光 俊郎 様 (東京都) 篠塚 正美 様 (埼玉県)
- ドイツ銀行グループ 様 (東京都)

行事予定

- 3月 3日 育児 ひな祭り
- 10日 育児 鹿島特別支援学校(高等部・中学部)・潮来第二中学校卒業式
面会日
- 12日 育児 認定こども園こじか卒園式
理事会
- 16日 育児 鹿島特別支援学校(小学部)卒業式
- 19日 育児 大生原小学校卒業式
辞令交付式
- 21日 育児 辞令交付式
- 31日 育児 辞令交付式
- 4月 5日 育児 お花見
理事会
- 5月 16日 育児 理事会

編集後記

旅立ちを見送る私はいつも不安になる。やり残したことはないか。最後に役立つ何かがないかと考える。時間があともわずかになって時間の大切さに身を刻まれる。(松枝)